

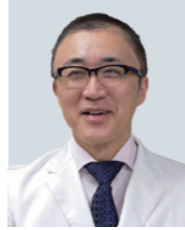
小児科専門研修プログラム

地域に根ざし、世界に通用する小児医学の提供を目指して

募集定員 **7名** 研修期間 **3年**



責任者からのメッセージ



小児科 教授 盛武 浩

「なぜ小児科を選んだのですか?」とよく質問を受けます。私の場合、「小児医療は「曙の医学」である」と学生実習中に先輩小児科医師がおっ

しゃった素敵なフレーズが胸に突き刺さり、小児科医になることを決めました。小児医療は、根治を目指し全力投球でき、その結果、病気を克服した子ども達が成人となり、少子化で苦しむ日本の救世主として社会へ羽ばたく姿をみられる喜びを実感でき、まさに「曙の医学」です。また、細分化された現代医療の中で「全身を診る」という学問的にも非常に満足度が高い分野です。

共に宮崎の小児医療を担ってくれる、志の高い若い先生をお待ちしています。

プログラムの特徴

本プログラムは、主に宮崎大学医学部附属病院、県立宮崎病院、県立日南病院、都城市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、国立病院機構宮崎病院の6つの病院で研修することで、予防接種や健診を含む一次医療から三次医療まで幅広い知識と診療技能を偏りなく習得することが可能です。それぞれの病院で異なるタイプの医療を必要とする診療を経験し、指導・教育を受けることで、小児科専門医取得のための到達度を十分に満たすことができます。また、宮崎大学医学部附属病院には宮崎県下の症例が集約されており、各診療グループでの専門診療を行っていますが、グループ間の垣根がなく、それぞれの専門分野の知識や技術を活かし、1人の患者さんについて複数のグループで協力しながら適切な医療を提供する体制が構築されていることは、自慢できる特徴といえます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	盛武 浩 教授、他19名	小児科としてヒトの成長と発達をみまもり援助するという心構えを確立する。小児科学のすべての領域をくまなく経験し、小児科医として必須の知識と診療技能を習得する。
連携施設	県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、県立日南病院、国立病院機構宮崎病院		
特別連携施設	国立病院機構 都城医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、都農町国民健康保険病院、宮崎市総合発達支援センター、愛生会日南病院、小林市立病院、高千穂町国民健康保険病院、京都府立医科大学、京都市立病院		

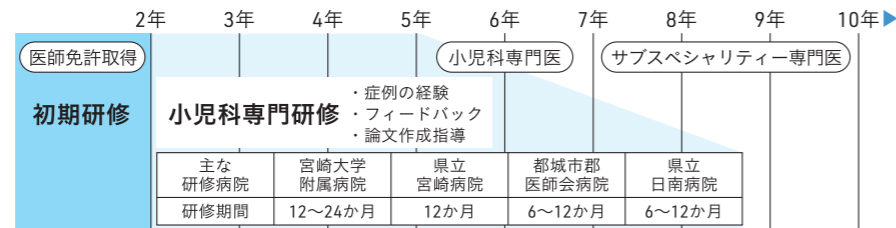
取得可能な専門医資格および技能

3年間の研修によって、小児科医として必要な小児の診察、採血や腰椎穿刺、骨髄穿刺などの一般的な手技を取得することができます。また、地域の一般病院内の研修では、予防接種や検診について、各種専門領域の研修では、心臓超音波検査、心臓カテーテル検査、腎泌尿器超

音波検査、腎生検、脳波検査、内分泌負荷試験、骨髄検査の評価、食物負荷試験などを学ぶことができます。3年間の研修の後、小児科専門医を取得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

専攻医登録後、それぞれの研修病院を半年から1年間研修することで、小児の主要な症候や新生児から各種専門領域の疾患を経験し、3年経過したのちに小児科専門医試験を受験することができます。



プログラム達成目標

専攻医は3年間の研修によって、「子どもの総合診療医」「育児・健康支援者」「子どもの代弁者」「学識・研究者」「医療のプロフェッショナル」の5つの資質を備えた小児科専門医となることを目指します。宮崎大学医学部附属病院で研修を開始し、小児科の基本的な考え方や手技、感染免疫・アレルギー・膠原病・内分泌代謝・血液腫瘍・腎泌尿器・循環器・

神経筋・新生児医療などの各専門領域の研修を行い、2年目以降は各関連病院で小児の急性疾患、慢性疾患、地域医療を6か月間から1年間それぞれ担当医として研修します。3年間を通じ外来での乳児健康診査、予防接種などの小児保健・社会医学の研修と救急疾患などすべての領域を研修します。

主要症例と実績数

肺炎や気管支炎、急性腸炎などの小児の感染症はもちろん、経験できる各種専門領域の主要な症例と年間の実績数は以下の通りです。

血液・腫瘍領域
神経・筋領域
循環器領域

白血病(6人)、悪性リンパ腫(2人)、固形腫瘍(5人)などでんかん(30人)、脳炎・脳症(10人)、発達障害(60人)など心室中隔欠損症(50人)、心房中隔欠損症(20人)、複雑心疾患(30人)、不整脈(20人)など

腎・泌尿器領域

ネフローゼ症候群(30人)、慢性糸球体腎炎(20人)、慢性腎不全(10人)、先天性腎尿路異常(40人)など

免疫・膠原病・アレルギー領域

免疫不全症(2人)、膠原病(5人)、アレルギー(10人)など

内分泌・代謝領域

低身長(30人)、糖尿病(5人)、甲状腺疾患(10人)など

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金	土・日
~ 8:30	受持患者情報の把握					
8:30 ~ 9:00	抄読会・研究会報告	入退院・カンファレンス	ミニレクチャー	症例検討会	入退院・カンファレンス	週末日直(2/月)
9:00 ~ 9:30	グループカンファレンス グループ回診					
9:30 ~ 12:00	病棟	病棟	病棟・外来	病棟・外来	病棟	
12:00 ~ 13:00						薬理セミナー(不定期)
16:00 ~ 17:30	病棟 学生・初期研修医の指導 血液腫瘍カンファ 腎泌尿器カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 全体カンファおよび 総回診	病棟 学生・初期研修医の指導 代謝・内分泌カンファ 神経カンファ	病棟 学生・初期研修医の指導 ハンズオンセミナー 学生症例発表(隔週)	病棟 学生・初期研修医の指導	合同勉強会(年3回)
17:30 ~ 19:00	患者申し送り					
13:00 ~ 17:00	リサーチミーティング(隔週)			ふりかえり(1/月)		

※小児泌尿器合同カンファ(1/月)、循環器外科合同カンファ(1~2/月)を月曜日に開催

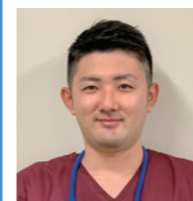
指導医からのメッセージ



准教授 此元 隆雄

当教室は、2017年に新たに盛武先生が教授に就任し、若い医局員とともに宮崎の小児医療の発展と充実のために日々頑張っています。専攻医に対しては、中堅医師が直接指導を行いますが、各専門分野に関してはそれぞれのサブスペシャリティーの専門医・指導医とともに診断・治療を行うことで最新の知見を学ぶことができます。女性医師も多数在籍しており、女性医師の様々なライフプランを医局全体で応援しています。小児医療に対する情熱をお持ちの方は、出身地、出身大学、男女問わず、いつでもご連絡ください。

先輩からのメッセージ



大富 滉平

私が宮崎大学小児科を選んだ理由のひとつに医局の雰囲気の良いさがあります。小児科は温厚な先生ばかりで日々の診療で迷うことがあっても、気兼ねなく相談できる雰囲気があります。そしてなにより、ここ数年は後期研修世代の若手医師が多く入局しており、屋根瓦式の指導体制が確立されています。入局すると後期研修1年目の先生が主治医として患者さんを担当することになりますが、同じく後期研修の2、3年目の医師も担当医として一緒に診療するスタイルになっています。初期研修では成人を診る機会が多いため、小児科という特殊な環境に最初は戸惑うかもしれませんが、基本的な手技や診察まで最初は手取り足取りサポートしますので安心してください。診療科を悩んでいる方も是非、研修や見学にいらしてください。宮崎のこどもたちのために一緒にがんばりましょう!



医員 明利 聡瑠

小児科研修のメリットを3つ。1つ目、小児科医は子どもの総合医と呼ばれるようにジェネラリストでありながら、指導医は分野別のサブスペシャリティも持っています。そんな指導医が常に病棟や医局にいて、小児一般の事はもちろん、各分野の疾患で悩んだときも他科にコンサルトすることなく気軽に相談でき、分野毎の最先端の知識も直接レクチャーしてもらえます。2つ目、普段から子どもと触れ合っている小児科の先生はとて優しく、教え方も丁寧で、慈愛に溢れています。3つ目、何より患者さんに癒されます。無邪気な子どもの笑顔ほど心を癒し、疲れを吹き飛ばしてくれるものはありません。そんな子ども達の笑顔を守るため、是非一緒に小児科医を目指しましょう。



笹井 美伶

2020年春から宮崎大学小児科専門研修プログラムで研修を始めました。生まれも育ちも大阪府ですが、宮崎の素晴らしい人々と自然に魅了されて、初期研修から宮崎で研修をさせて頂いています。私は、小児科医として働ける日を夢見て医師を目指しました。子どもの数だけ夢があり、その夢の手助けをしたいという気持ちが小児科医を目指したきっかけです。子どもの性格、家族構成、これまでの人生は子どもの数だけ違い、その1人1人にとってどのような医療的介入ができるのか、日々考えながら私自身も一緒に成長させてもらっています。入局後は、教授を初め多くの指導医の先生方からたくさんを学ばせて頂いており、どの先生方も優しく、尊敬できる先生方ばかりで、悩んだ時はすぐに相談ができる、とても温かく働きやすい環境に感謝しています。小児科に興味のある方は是非!気軽に話しかけてください。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

お問い合わせ先

担当: 此元 隆雄

T E L : 0985-85-0989

F A X : 0985-85-2403

e-mail : konomoto@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/pediatrics/

小児科HP



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テラピジョン科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療

皮膚科専門研修プログラム

皮膚を通して
全身を診ることのできる医師を育てる

募集定員 **4名**
研修期間 **5年**



責任者からのメッセージ



皮膚科
教授 天野 正宏

皮膚科は新生児から高齢者まで幅広い年齢層の患者さんを対象とし、アトピー性皮膚炎や薬疹など薬物療法が主体の疾患から、熱傷や皮膚癌などの外科的治療が必要なものまで守備範囲とすることが大きな魅力です。数多くの症例を経験することで、患者さんの病巣を的確に表現できるようになり、そしてこのことは臨床診断や病態の把握に役立ちます。また皮膚科ではマクロ(臨床)とミクロ(皮膚病理)を対比できるのが強みです。病理が苦手という方もいらっしゃるかもしれませんが、皮膚病理は確定診断になる事はもちろん、臨床像や病態と密接に関係しています。私たちとマクロとミクロを診る目を養って頂きたいと思います。私たちとここ宮崎で皮膚科学を極めたい仲間を歓迎いたします。

プログラムの特徴

外来患者数は1日平均50人以上、疾患も先天性皮膚疾患、炎症性皮膚疾患、皮膚悪性腫瘍など多岐にわたります。入院患者は重傷薬疹、熱傷、皮膚癌など重症患者も多く、豊富な経験を積むことができるのが特徴です。また年間手術件数も多く全身麻酔の症例だけで300件を超え多くの手術を経験することができます。内科系から外科系まで幅広く知識・技術を習得することができ、また研究面においては、南九州に多いとされる成人T細胞性白血病/リンパ腫の進行に関連する遺伝子変異の検索を行っています。地域医療に貢献できる研究や診察を目指しています。

取得可能な専門医資格および技能

- 機構認定皮膚科専門医
- 日本皮膚科学会認定皮膚悪性腫瘍指導医
- 日本皮膚科学会認定美容皮膚科・レーザー指導専門医

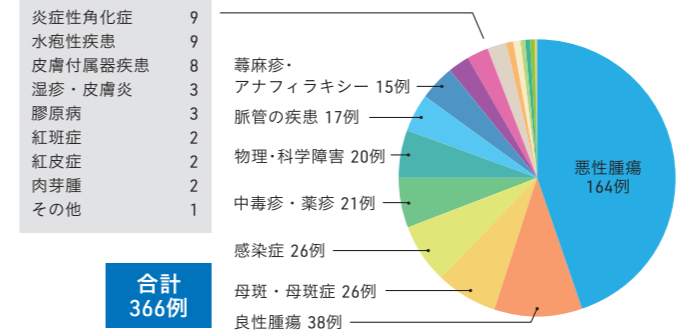
プログラム達成目標

皮膚科専門医として信頼され安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術を獲得できることを目標とし、医師としての一般的な基本能力を基盤に、皮膚疾患の高度な専門的知識・治療技能を修得し、関連領域に関する広い視野をもって診療を行うことができるようになることを目標とします。

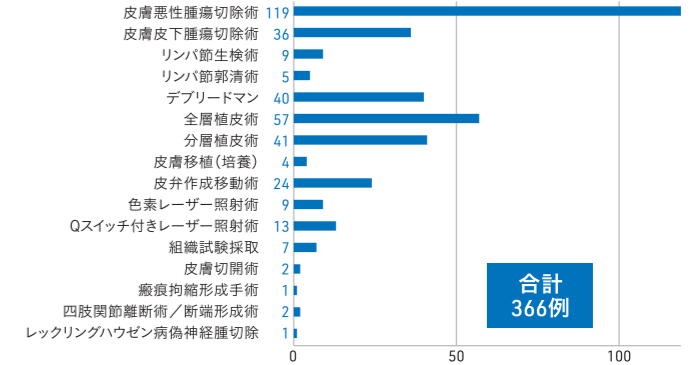
主要症例と実績数(令和2年度)

昨年度の実績数は以下のとおりです。

○ 入院患者疾病別内訳



○ 手術件数(入院)



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

月曜は終日カンファレンスを行います。専攻医は入院患者の、自身の受け持ち患者について1週間のウィークリーサマリーのプレゼンテーションを行ってまいります。また皮膚病理検討会や、外来スライドカンファレンスも行っております。外来患者のカンファレンスに参加することで、稀な疾患からコモンな疾患まで幅広く知識を深めることが出来るようなカンファレンスを行うことを目標としています。抄読会も行い、英語論文に慣れ親しんでもらうことを目的としています。水

曜金曜の外来日では教授席席に従事します。その他指導医のもと、皮膚科的検査も積極的に行ってもらいます。病棟診療についてはチーム医療制度を導入し、受け持ち患者の診察・検査・治療・手術手技について、習得を目指します。その他日本皮膚科学会主催の必須講習会を受講し、年に2回以上筆頭筆者として学会発表を行ってまいり、年に1編以上筆頭筆者で論文を作成することを目標にさせていただきます。

時間	月	火	水	木	金
AM	病棟回診	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	外 来
PM	カンファレンス・病理・抄読会等	手術及び病棟	外 来	手術及び病棟	病棟、回診

連携施設名等

	施設名	指導医	1日平均外来患者数	1日平均入院患者数	年間手術件数
基 幹 施 設	宮崎大学医学部附属病院	天野 正宏 教授、他7名	56.3名	13.2名	366(入院)例
連 携 施 設	千代田病院、古賀総合病院、順天堂大学医学部附属 順天堂医院、九州大学病院				
準 連 携 施 設	県立宮崎病院、国立健康保険西米良診療所、高千穂町国民健康保険病院、椎葉村国民健康保険病院、美郷町国民健康保険西郷病院(他)				

※県立宮崎病院は、2021年7月より連携施設に変更予定。※県立延岡病院は、2021年10月より準連携施設に追加予定。
※プログラムに書かれている施設への研修は、必ずしも全ての施設で研修できるということではありません

専門医取得までのタイムスケジュール

- 基 幹：** 研修基幹施設での研修(最低1年必要) **大学院(研究)：** 基礎医学の講座などで研究に専念する期間(2年間まで)
- 連 携：** 研修連携施設での研修(最低1年必要) **大学院(臨床)：** 皮膚科を研修しながら研究をする期間(制限無し)
- ⇒ 県立宮崎病院(宮崎市)、古賀総合病院(宮崎市)、千代田病院(日向市)

コース	研修1年目	研修2年目	研修3年目	研修4年目	研修5年目	
A 基本コース	基 幹	基 幹	連 携	連 携	基 幹	受験申請 ↓ 専門医試験 ↓ 専門医 ↓ サブスペシャリティ修得
B 連携施設中心コース	基 幹	連 携	連 携	連 携	基 幹	
C 社会人大学院コース	基 幹	基 幹 (社会人大学院)	連 携 (社会人大学院)	基 幹 (社会人大学院)	基 幹 (社会人大学院)	
D 大学院在学中に受験するコース	基 幹	連 携	基 幹	大学院 (研究)	大学院 (研究)	

※産休・育休の期間は6か月を上限に研修期間として認められます。
※1人医長の期間は最大2年まで研修期間として認められます。
※大学院として皮膚科以外の臨床講座あるいは基礎系講座あるいは研究所等にて皮膚科領域に関連する研究に従事する場合は、2年間に限りに研修期間と認められます。

指導医からのメッセージ「皮膚を通して全身を診る。」

講師 持田 耕介

宮崎大学皮膚科は、全身最大の臓器である「皮膚」を皮膚病変のみに限らず、それに随伴した全身疾患のマネジメントができる医師の育成に取り組んでいます。具体的には、大学で難治な疾患や手術手技等を学び、関連病院等でその技術や知識を地域に還元し、さらに専門性を深め、より深い学びのために希望者には大学院進学や先進医療を学ぶための国内留学、世界的視野を得るための海外留学等も行っています。私自身、国内留学として静岡がんセンターに1年間、大学院生として基礎医学の先生方とATLLの研究を行っております。医局員全体で協力し合いながらワークシェアを行い、皆が生きがいをもって働ける場の提供に努めております。皮膚科に少しでも興味がある方は、是非ご連絡ください。

先輩からのメッセージ

専攻医1年目 久保 致子

私が宮崎大学皮膚科に入局した理由として、皮膚科領域は、内科系疾患、外科系疾患と扱う疾患が幅広いこと、当院の皮膚科は壊死性筋膜炎や重症熱傷などといった救急疾患についても対応していることが非常に魅力的に感じたことが一番の理由です。皮膚疾患はまず皮膚所見を目で見て、次にそれを病理学的所見で検討を行います。マクロとミクロを対比させて治療方針を検討する、その奥深さを日々感じております。熱意のある優しい指導医の先生方の元、充実した日々を過ごしています。私は県外出身ですが宮崎は気候も良く、また自然も多く住みやすい環境だとも思います。少しでも興味を持たれた方がいらっしゃいましたら是非一度当医局に見学に来ていただき雰囲気を感じていただけたら幸いです。

お問い合わせ先 T E L : 0985-85-2967
F A X : 0985-85-6597
担 当 : 根本 利恵子 e-mail : reiko_nemoto@med.miyazaki-u.ac.jp

皮膚科HP <http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/derma/>

精神科専門研修プログラム

この不透明な時代だからこそ...

募集定員 10名
研修期間 3年



責任者からのメッセージ

精神科
教授 石田 康



精神科で専門医を目指すことによって得られる成果は、単に精神科専門医というライセンスだけではなく、脳科学者あるいは地域医療

の担い手になる他、様々な可能性を手に入れることに繋がります。認知症や発達障害の当事者や関係者へのサポートはもちろん、薬物依存や犯罪・司法精神医学、新たな感染症を含む災害精神医学その他、現代あるいは今後社会に求められているのは精神科の専門医です。生きる醍醐味を享受しつつ、一緒に精神科の専門医を目指しましょう。

プログラムの特徴

宮崎県内の多くの精神科医療機関と連携したプログラムとなっています。基幹施設である宮崎大学医学部附属病院精神科では、救急部と連携した精神科救急、身体合併症、難治性精神疾患、器質性精神障害、緩和ケアなど学ぶことができます。宮崎県立宮崎病院精神医療センター、児童思春期の専門医療機関、認知症疾患医療センター、単科精神科病院などをローテートしながら研鑽を積み、臨床精神科医としての実力を向上させつつ、専門医を取得することが可能です。また、精神科専門医を目指して臨床経験を積みながら、精神保健指定医の取得、大学院に進学し博士号を取得することも可能です。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	石田 康 教授、他4名	統合失調症、気分障害、神経性障害、認知症。精神科救急、思春期症例などの治療、さらに身体合併症治療、コンサルテーション・リエゾンなど精神科臨床を幅広く経験できる。
連携施設	県立宮崎病院精神医療センター、国立病院機構 宮崎東病院、井上病院、協和病院、高宮病院、大悟病院、野崎病院、宮崎若久病院、内村病院、国見ヶ丘病院、県南病院、鮫島病院、都城新生病院、田中病院、谷口病院、永田病院、藤元病院、吉田病院、医療法人隆誠会 延岡保養園、若草病院		

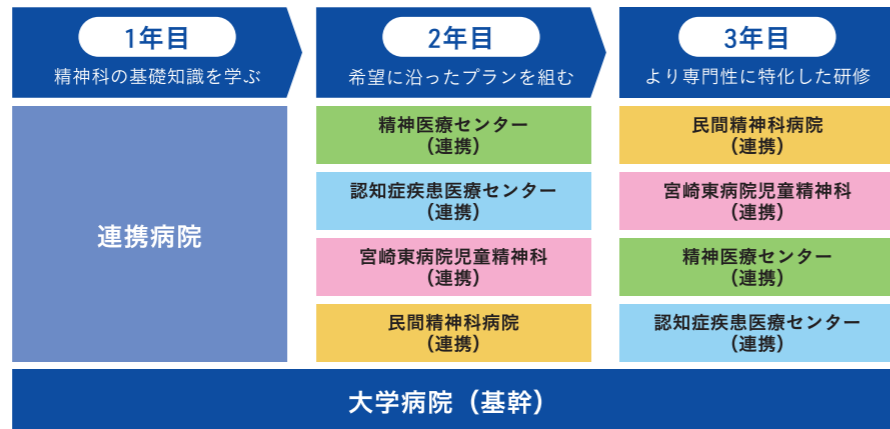
取得可能な専門医資格および技能

日本精神神経学会専門医・精神保健指定医を取得後は、精神科医としての経験を積みながら、サブスペシャリティを深めることを推奨します。大学病院精神科では、以下の専門医などが取得できます。

- 日本老年精神医学会認定専門医
- 日本児童青年精神医学会認定医
- 日本緩和医療学会専門医

専門医取得までのタイムスケジュール

1年目は基本的には大学病院で基本的な精神疾患を身体的・器質的疾患の除外や論理的考察を元に経験します。2年目以降は各自の希望に沿ったプランを組むことも可能です。精神保健指定医の症例も3年間で十分経験することができます。また、この時期に学会発表や論文作成の指導を受け、研究に興味を持つ医師は臨床経験に併行して博士課程で博士取得に向けた研究を行うことも可能です。



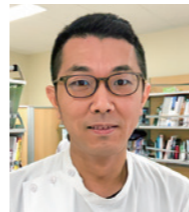
プログラム達成目標

1年目は指導医と一緒に患者を受け持ち、面接技法、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学び、コンサルテーション・リエゾン精神医学を経験する。症例カンファレンス、セミナーに参加し、学会や研究会等で発表する。2年目は指導医の指導を受けつつ面接技法を学び、診断と治療計画の能力を充実させる。薬物療法の知識を深め、精神療法の基本的考え方を学ぶ。また、症例報告など論文執筆の指導を受ける。3年目は指導医から自立して診療できるようにする。各種精神療法を上級者の指導の下に実践し、心理社会的療法、精神科リハビリテーション、地域精神医療等を学ぶ。

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

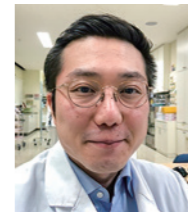
時間	月	火	水	木	金
AM	病棟業務 救急・病棟回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診	病棟業務・外来予診 救急回診
PM	病棟業務 病棟行事 入退院 カンファレンス	病棟業務 病棟行事 リエゾン カンファレンス	病棟業務 集団精神療法 リエゾン カンファレンス	病棟業務 SST 緩和ケア カンファレンス	病棟業務 抄読会・研究発表会 病棟 カンファレンス

指導医からのメッセージ



助教 大平 洋明

精神科専門研修をお考えの先生、精神科に興味を持っていただきありがとうございます。先に白状しますと、当教室は田舎の大学精神科医局です。常に人手不足です。都会のキラキラした大規模病院のように、様々な専門性を売りにしているわけではありません。カリスマ指導医も、今はまだ、いません。けれど小さいからこそ結束力が強く、日々起こる想定外の事態に知恵を出し合っただけです。精神保健指定医や精神科専門医を取得するための症例には事欠きません。指導医も病棟医もそれぞれ専門性を意識しながら診療や研究に専念しています。宮崎県の自殺対策に情熱を燃やす医師、災害精神医療の研鑽や準備に余念のない医師、他科と密に連携しながら緩和ケアに貢献する医師、電気けいれん療法の最適化を臨床の立場から模索する医師、サーファーの精神世界に惹かれ早朝必ず波に乗ってから臨床に臨む医師、など魅力的な先輩だらけです。もちろん、子育て中の医師もおり、ライフサイクルに合わせた柔軟な勤務、研修が可能です。精神科医としての第一歩を、ぜひ当科の研修プログラムで踏み出してみませんか。4月にお会いできますことを、楽しみにお待ちしております！



助教 香田 将英

これまで、病棟主治医をメインに、外来や救急、リエゾン、緩和ケアなど日々従事してきました。週に1回の関連病院への外勤もあり、様々な角度から精神医療の研鑽を重ねています。医局は、私のように他大学出身のスタッフも多く、アットホームな雰囲気大きな魅力の一つだと思います。精神科は、診断して、治療して、おしまい、という単純明快なものでもありません。身体医学では学べない、人間の心理や社会に視点を置く点で特徴的です。「人間とはどのような生き物なのか」「何が正常で、何が異常なのか」といった内容に興味がある人、「その人の生きづらさに一緒に向き合っていきたい」という人は、ぜひ精神科も選択肢としていかがでしょうか。

先輩からのメッセージ

医療法人望洋会鮫島病院(連携施設) 上野 鷹司郎

「医者は年中無休働くべき!」「趣味なんかする時間はない!」って、いやいや勘弁してくださいよ〜と思ったあなた!私の場合サーフィンやギターなど趣味に没頭しながら専門医取得に向けて勉強させて頂いています。これから長年働く上で、みなさん医師である前に人間ですので、プライベート時間の確保もしっかり考えるべきです。精神科は働く医師の心の健康のためにも医局員皆が互いのプライベート時間を大切に考えています。

お問い合わせ先

担当: 船橋 英樹

T E L : 0985-85-2969

F A X : 0985-85-5475

e-mail : psychweb@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/psychiatry/

精神科HP



外科専門研修プログラム

Safe and Secure 安心・安全な楽しい外科診療@
MedSURG2021+有事即應 2020

募集定員
10名

研修期間
3年

責任者からのメッセージ



肝胆膵外科
教授 七島 篤志

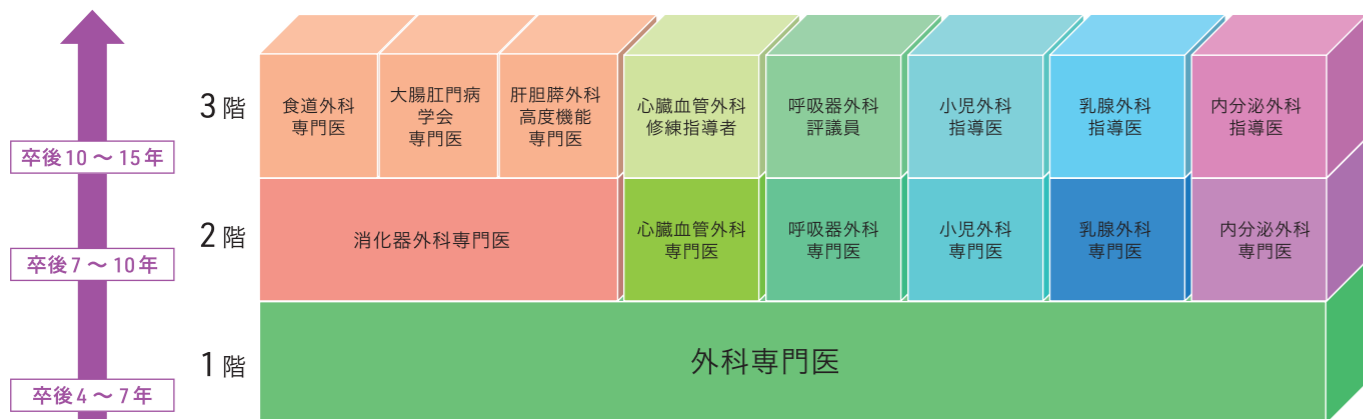
宮崎大学医学部外科学講座が発足後6年を経過し、組織も軌道に乗ってきました。7年目は新たなステージにはいるために、昔ながらのキャッチコピーとともに **New normal** への挑戦も必要だと感じています。専門医プログラムを卒業した初代専攻医のみならず、外科学会専門医取得を無理なく最短期間で達成し、更なる専門性を持って始動しています！大講座の強みが生かせることを肌で感じながら、サブスペシャリティへの活躍が期待されます。今この **ミレニアム世代** の皆さんが、次の新しく世界を席巻する **Z世代** の皆さんへの橋渡し指導ができる大いなる期待感に満ち溢れています。これからの新たなステージに飛躍する宮崎大学医学部外科学講座は中堅、指導者も一丸となって、外科を目指す可能性豊かな皆さんを待ち望んでいます。

プログラムの特徴

宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、宮崎県で有数の研修病院・拠点病院・救急病院として知られる複数の病院が連携施設になっています。病院の規模や地域性が異なり、幅広い経験が可能です。宮崎大学外科専門研修プログラムの関連施設全体での手術総数は約20,000件です。大学病院の手術は軒並み増加しバラエティ豊かに発展しています。分野間の連携が良く、将来何事にも対応できる専門医をめざせます。

取得可能な専門医資格および技能

1階建て部分の外科専門医を3年で取得し、引き続いて2階、3階建て部分の各サブスペシャリティ専門医に速やかに移行していきます。外科医師に求められる基本的診療能力・態度(コアコンピテンシー)と外科専門研修プログラム整備基準にもとづいた外科専門医に求められる知識・技術を習得します。



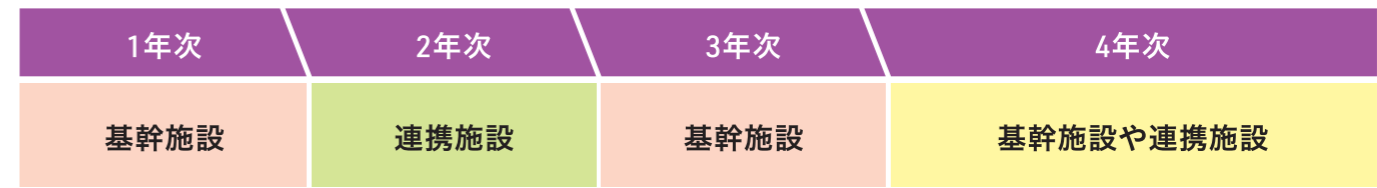
連携施設名等

	施設名	統括責任者・副責任者	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	七島 篤志 教授	消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺内分泌外科
連携施設	県立宮崎病院、県立日南病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院、都城市医師会病院、済生会日向病院、串間市立病院、潤和会記念病院、泉和会千代田病院、新行橋病院、古賀総合病院、誠友会南部病院、宮崎生協病院、健寿会黒木病院、さがら病院宮崎、国立病院機構宮崎東病院、宮崎善仁会病院、国立病院機構都城医療センター		

専門医取得までのタイムスケジュール

外科専門医は初期臨床研修修了後、3年(以上)の専門研修で育成されます。3年間の専門研修期間中、基幹施設または連携施設で最低6カ月以上の研修を行います。下図に宮崎大学外科研修プログラムの1例

を示します。専門研修1年目は基幹施設、2年目は連携施設、3年目は基幹施設や連携施設での研修です。3年目以降の研修は2年次終了時の達成度合いで、研修内容を検討いたします。



外科専門医研修

サブスペシャリティ領域など専門医研修

大学院コースまたは外科系臨床腫瘍医養成コース

サブスペシャリティ領域によっては外科専門研修を修了し、外科専門医資格を習得した年の年度初めに遡ってサブスペシャリティ領域専門研修の開始と認める場合があります。

専門研修期間中に大学院へ進むことも可能です。大学院コースを選択して臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであればその期間は専門研修期間として扱われます。

習得目標及び経験症例数

○ 専門研修1年目

主に大学病院で基本的診療能力および外科基本的知識と技能の習得を目標とします。専攻医は定期的に開催されるカンファレンスや症例検討会、抄読会、院内主催のセミナーの参加、e-learningや書籍や論文などの通読、日本外科学会が用意しているビデオライブラリーなどを通して自らも専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 200例以上(術者30例以上)

○ 専門研修2年目

基本的診療能力の向上に加えて、主に関連病院で外科基本的知識・技能を実際の診断・治療へ応用する力量を養うことを目標とします。専攻医はさらに学会・研究会への参加などを通して専門知識・技能の習得を図ります。

一般外科/麻酔/救急/病理/消化器/心・血管/呼吸器/小児/乳腺・内分泌

経験症例 350例以上/2年(術者120例以上/2年)

○ 専門研修3年目

チーム医療において責任を持って診療にあたり、後進の指導にも参画し、リーダーシップを発揮して、外科の実践的知識・技能の習得により様々な外科疾患へ対応する力量を養うことを目標とします。カリキュラムを習得したと認められる専攻医には、積極的にサブスペシャリティ領域専門医取得に向けた技能研修へ進みます。3年目は原則として宮崎大学病院で研修を行い、不足症例に関して各領域をローテートします。

主要症例と実績数

宮崎大学医学部附属病院において、外科の年間の退院患者数は約1,200人、外来患者延べ人数は、約12,000人です。手術件数も年間約1,200件ありますので、各分野の症例数は十分に満たします。

院患者数

約1,200人

外来患者延べ人数

約12,000人

手術件数も年間

約1,200件

ココに注目!

現代の患者のニーズでは女性外科医の必要性は年々高まっていて、宮崎大学プログラムはいち早く女性医師が働きやすい環境整備をすすめ、性別にかかわらず就業・キャリア形成ができるよう最善を尽くしています。女性が働きやすい職場こそ男性も働きやすい職場である認識から、共に21世紀の働き方を改革しましょう。



MIYAZAKI STRONG

宮崎大学外科学講座のロゴマーク

外科・放射線科領域のサブスペシャリティ領域

機構認定	(2)運動研究を行い得る領域	(4)すくなくとも1つのサブスペシャリティ領域を修得した後に研修を行う領域
	外科基本領域研修(3年)	
消化器外科	消化器外科(領域)	
呼吸器外科	呼吸器外科(領域)	
心血管外科	心血管外科(領域)	
小児外科	小児外科(領域)	
乳腺	乳腺外科(領域)	
	(3)運動研修を行わない領域	
内分泌外科	外科および他の基本領域研修(3年)	内分泌外科(領域)

機構認定	(2)運動研究を行い得る領域	
	放射線科基本領域研修(3年)	
放射線診断	放射線診断(領域)	
放射線治療	放射線治療(領域)	



※領域の名称については、改めて見当がされるべきである

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金	土
朝	カンファレンス	カンファレンス	抄読会、勉強会	カンファレンス	カンファレンス	
午前	病棟業務・外来					病棟業務
午後	外来・総回診	外来				
9:00~	手術					
夕方	放射線診断合同カンファレンス	医局全体ミーティング	内科外科合同カンファレンス 医局全体ミーティング	病理合同カンファレンス	病理合同カンファレンス	

指導医からのメッセージ

呼吸器・乳腺外科 **富田 雅樹**

外科学会専門医、そして次のサブスペシャリティの専門医を獲得するための症例数、経験数に問題はありません。地域のマンパワー不足はありますが、逆に一人当たりに経験する数は都会や民間の病院より倍増します。宮崎大学の結束力は固く、活力ある外科医が集まれば大きな力となります。その力になっていただきたい。一緒に頑張りましょう。

心血管外科 **古川 貢之**

宮崎大学外科では、幅広い外科分野をシームレスに研修できることが最大の特徴です。外科では丁寧で合併症を生じない手術が大切ですが、合併症が生じたとき、それを早く察知し、適切に対応することもとても大切です。その上では消化器外科医が循環器合併症を、循環器外科医が消化管合併症を知らねばなりません。当講座では外科合同カンファレンスを毎週行って情報を交換し、時には共同で診療に当たっています。将来外科を希望される人、またそうでない人も当科での研修を通じて患者様により良い治療が実践でき、スキルアップが図れます。

お問い合わせ先

T E L : 0985-85-2291

F A X : 0985-85-5563

担当: 旭吉 雅秀

e-mail : mhiyoshi@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/

外科HP



診療科の紹介

- 消化管(食道・胃・小腸・大腸)の疾患を取り扱う消化管外科と腹部実質臓器(肝・胆道・膵・脾)の疾患を取り扱う肝胆膵外科の2分野の紹介です。
- 外科学分野を横断的に学んで外科専門医を資格を得たのち、消化器外科専門医の資格取得を目標にこの2分野で研鑽をつんでいきます。
- 症例毎に手術適応、手術な用、術後合併症の対応、全身管理について、カンファレンスを重ね、安全性の高い外科診療をめざしています。
- 各領域で鏡視下手術を積極的に導入しています。
- 緊急手術や外傷手術も対応しており、救命外科を経験できます。
- 若手の先生がバランスよく効率的に消化器外科に精通できるような丁寧な指導をこころがけています。

取得できる専門医及び技能

消化器外科学会専門医、消化器病学会専門医、肝胆膵外科高度技能専門医、胆道学会指導医、膵臓学会指導医、大腸肛門病学会専門医、食道学会食道外科専門医、気管食道科学会専門医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理医認定医、日本腹部救急医学会認定医、日本Acute Care Surgery学会認定医など資格取得に必要な手術や処置の技術



主要症例と実績数

2020年の手術実績数

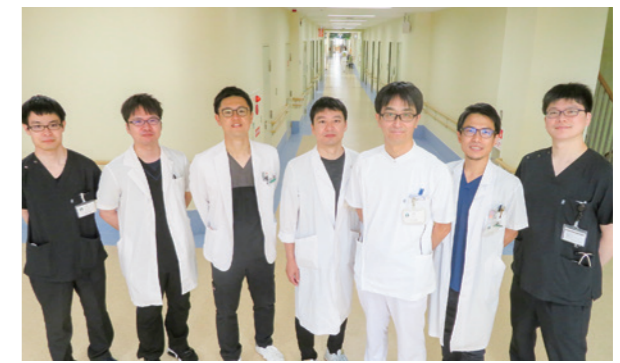
症例	実績数
【肝胆膵外科 113例】	
高難度手術	56
膵頭十二指腸切除術	23
肝切除術	30
【食道外科 63例】	
高難度手術	48
【胃・十二指腸手術 60例】	
高難度手術	17
【下部消化管手術 143例】	
小腸腫瘍・大腸癌	83
炎症性腸疾患	13
【緊急手術 91例】	
内因性疾患手術	74
外傷手術	17

消化器外科

有事即應！臨機応変に対応できる消化器外科医を育てます！

診療科の紹介

当科では成人心臓疾患(心臓弁膜症、虚血性心臓病)、大動脈疾患(大動脈瘤、大動脈解離症)、末梢動脈疾患、静脈疾患などを対象に診療を行っています。カテーテル的大動脈弁置換術(TAVI)やステントグラフト内挿術などの低侵襲治療にも積極的に取り組んでいますが、宮崎県の最後の砦として難易度の高い手術や小児・成人先天性心疾患への対応も求められ、最善の治療が提供できるようチーム一丸となって日々の診療に当たっています。県内の関連病院(県立宮崎病院、県立延岡病院、宮崎市医師会病院)と修練施設群(宮崎大学医学部心臓血管外科修練施設群)を形成し、計10名の心臓血管外科専門医を配置し、豊富な手術症例数を確保しています。さらなるスキルアップのため国内、国外 high volume center への留学も行っています。



主要症例と実績数

計211例の手術を実施しています。修練施設群内の過去3年の年間平均総手術数は910例です。

2020年の手術実績数

症例	実績数
成人心臓大血管手術	126
胸部大動脈ステントグラフト内挿術	22例
経皮的動脈弁植え込み術	26例を含む
小児心臓手術	28
小児人工心臓使用手術	17例
腹部大動脈・末梢血管手術など	57

心臓血管外科

人を思いやる温かいハートとハンドで、循環器疾患に立ち向かおう

診療科の紹介

当呼吸器外科では、原発性肺がん、他臓器からの転移性肺腫瘍などの胸部腫瘍性疾患、縦隔の各種疾患、気胸や悪性胸膜中皮腫などの胸膜疾患、胸部の感染性・炎症性疾患(肺結核、非定型抗酸菌症、膿胸など)、胸壁疾患(胸壁腫瘍や漏斗胸)などの外科治療を行っています。当科では、科学的根拠のある、経験に裏打ちされた医療を、安全・確実に遂行するよう心がけております。近年の手術では、内視鏡を使用して侵襲の少ない小さな手術創で行う胸腔鏡下の手術(VATS)を各種呼吸器疾患に広く応用しています。

また令和2年1月より、原発性肺癌に対するロボット支援手術を開始し、質を落とすことなくさらなる低侵襲治療を行っています。

週間行事

月曜日・金曜日は外来日、火曜日・木曜日は終日手術です。検査、カンファレンスは水曜日に行い、また内科、放射線科、病理との合同カンファレンスも行っております。

取得できる専門医及び技能

- 外科専門医(卒後6年)
 - 卒後8年で呼吸器外科専門医
- 呼吸器外科では若い外科医に積極的に肺癌を始めとした手術の執刀をしていただいています。



主要症例と実績数

肺腫瘍(肺癌を含む)、気管・気管支腫瘍、自然気胸、胸壁腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜疾患、膿胸、横隔膜疾患、胸壁疾患、胸部外傷

2020年の手術実績数		症例	実績数
【呼吸器外科手術数 185例】		肺悪性疾患	117
		縦隔腫瘍	20

診療科の紹介

小児外科は先天性疾患(鎖肛や食道閉鎖、Hirschsprung病など)、未熟児の消化管穿孔といった新生児・乳児疾患から、虫垂炎や腸重積などの救急疾患、重症心身障害児への外科的介入、小児がんに至るまで幅広い疾患を対象として診療を行っています。頸部から肛門に至るまで、呼吸器、消化器、生殖器、軟部組織と幅広い臓器を扱えるのが大きな魅力の一つです。

また機能的な予後を長期にわたりフォローすることから、診療に携わった子どもの成長をご家族と一緒に実感することができます。この喜びは小児外科に特有のものです。

週間行事

定例手術は金曜日に行っています。外来は火曜日と木曜日です。毎週月曜日と水曜日は消化管・内分泌・小児外科のカンファレンス、火曜日と木曜日は肝胆膵外科のカンファレンスに参加します。また必要に応じて小児科や産科、新生児科とのカンファレンスも行います。

取得できる専門医及び技能

外科専門医、外科指導医、小児外科専門医、小児外科指導医、小児がん認定外科医、新生児認定外科医



主要症例と実績数

2019年の手術実績数		症例	実績数
【小児外科手術数 124例】		鼠径ヘルニア(うち腹腔鏡手術7例)	35
		精巣固定術	11
		小児固形悪性腫瘍	8
		胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術	5
		新生児消化管穿孔手術	5
		鎖肛に対する肛門形成術	3
		腹部外傷	2
		腹壁破裂に対するサイロ造設術	1
		先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡下根治術	1
		ヒルシュスプリング病根治手術	1

計124例(うち腹腔鏡・胸腔鏡手術30例、新生児手術8例)

診療科の紹介

初めまして、富永洋平と申します。当大学の9期生になります。縁あって、2019年に当大学の乳腺外科のチーフとして赴任しました。

乳癌は女性の悪性腫瘍の中で最も頻度が高く、好発年齢が40代後半から60代と働き盛りの世代に多い疾患です。しかし、宮崎県では乳腺外科の医師がとて少ない状況です。そのため、乳腺診療に興味を持っている方には是非参加して欲しいと思っています。当院の乳腺外科のコースでは、診察、画像診断、針生検などの基本的な乳腺診療から手術、化学療法まで全てを学ぶことができます。女性の方は、将来、結婚して、子育て中でも、乳がん検診を行うことで乳癌診療に貢献することができます。また、研究面では化学療法の有害事象について、個体差が生じる分子メカニズムの解明をテーマに少しずつですが取り組んでいます。

取得できる専門医及び技能

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本乳癌学会の乳腺専門医やその前段階の乳腺認定医が取得可能です。また、マンモグラフィー読影医やがん治療認定医を取得するサポートを行います。現在、日本専門医機構では、乳腺外科は外科の中でサブスペシャリティ領域として、検討されています。



主要症例と実績数

昨年、86例の乳癌手術を行いました。大学ではリスクが高い症例や高齢者が多く関係で乳房切除術が多くなっています。また、リンパ浮腫のリスクの少ないセンチネルリンパ節生検(色素とRIとの併用)を多くの症例で行っています。

乳房の整容性を保つために、症例によりますが、乳房温存部分切除術(基本的に放射線治療を要す)や形成外科と合同で乳房同時再建を行っています。また、化学療法も行っており、昨年は延べ355例を行いました。

診療科の紹介

当内分泌外科では主に甲状腺腫瘍(甲状腺癌や良性腫瘍)とバセドウ病、副甲状腺病変に対して外科的治療を行っています。各科と連携し患者さんの状態や疾患の状況を十分に評価した後外科的適応を評価します。

当科では、通常の手術だけでなく進行症例や重度の併存疾患を有する症例においても対応しています。特に心臓血管外科や呼吸器外科と連携し高度浸潤症例においても積極的に手術介入を行っています。

また整容性の向上に努めるためにも近年は鏡視下手術を導入し行っています。術後の傷が目立たず患者さんからの高い満足度がえられています。

都市部との治療格差がないよう常に最新の知見を意識しながら最高の診療を提供できるように努めています。

取得できる専門医及び技能

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本内分泌外科学会専門医・指導医



主要症例と実績数

2020年の手術実績数		
症例		実績数
【甲状腺手術 60例】		
甲状腺癌手術		39
甲状腺良性腫瘍手術		11
バセドウ病手術		10
うち鏡視下手術		4
【副甲状腺手術 6例】		
副甲状腺腫瘍		6

形成外科専門研修プログラム

今が大チャンス！
宮崎で形成外科専門医を取得しよう！

募集定員 **2名**
研修期間 **4年**

責任者からのメッセージ



形成外科
病院教授 伊東 大

宮崎県には形成外科専門医が足りません。2021年度から当科を基幹施設とした研修プログラムで、後期研修医募集を開始しました。都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センターが連携施設です。また、東京女子医大病院と鹿児島市立病院とプログラム連携しています。充実したプログラムおよび充足した症例数を有し、指導医のもと実りある後期研修医生活を送れるようスタッフ一同日々努力しております。少しでも興味があり、やる気のある方、お待ちしております。

プログラムの特徴

当科では、形成外科専門医となるために経験すべきすべての疾患に関し経験することが可能で、もちろん形成外科専門医取得が可能です。より難易度が高く稀な疾患・病態に対する治療頻度が高いのも特徴です。

- 1 包括的な体表外科**：先天異常、外傷、腫瘍、炎症性・変性疾患など体表面の外科的疾患すべてに豊富な症例数を有しています。
- 2 多種多彩な創傷に対応する外科的治療**：「創傷外科」として院内で発生する術後創に関するトラブルに対応しています。開頭術後の難治性潰瘍、開胸術後の縦隔炎、消化器外科などの腹部手術後の創離開、皮膚科・整形外科での皮膚欠損創など、多種多彩な手術創の修復に関わっています。創傷外科専門医の取得も可能です。
- 3 微小血管吻合技術を用いた再建手術**：外科系各科との緊密な連携により、頭頸部再建、腹壁再建、乳房再建、四肢再建など各種再建手術において遊離組織弁移植術を行っています。また、切断指再接着や肝切除の際の肝動脈吻合などの微小血管吻合も行い、良好な治療成績を得ています。再建・マイクロサージャリー指導医の取得も可能です。
- 4 熱傷治療施設としての地域貢献**：これまで救命救急科・皮膚科が、宮崎県の熱傷治療に力を入れてきました。今後は当科も協力し宮崎県の熱傷治療に大きく貢献していきます。熱傷専門医の取得も可能です。
- 5 研究への取り組み**：脂肪幹細胞などの再生医療分野や創傷治癒などの臨床研究に取り組んでいます。希望者には米国テキサス大学への研究留学も夢ではありません。

連携施設名等

	施設名	指導医	症例数
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	伊東 大 教授、他1名	約400例
連携施設	都城市郡医師会病院、国立病院機構災害医療センター		
他プログラムの基幹施設	鹿児島市立病院、東京女子医大病院		

取得可能な専門医資格および技能

- 日本専門医機構 形成外科専門医
- 日本創傷外科学会認定 創傷外科専門医
- 日本形成外科学会認定 特定分野指導医
 - 皮膚腫瘍外科分野指導医
 - 小児形成外科分野指導医
 - 再建・マイクロサージャリー分野指導医
- 日本頭蓋顔面外科学会認定 頭蓋顔面外科専門医
- 日本熱傷学会認定 熱傷専門医



第31回日本熱傷学会九州地方会開催

プログラム達成目標

- 1 専門知識**
専攻医は専門研修プログラムに沿って(1)外傷、(2)先天異常、(3)腫瘍、(4)瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、(5)難治性潰瘍、(6)炎症・変性疾患、(7)その他、(8)美容外科について広く学ぶ必要があります。
- 2 専門技能**
形成外科領域の診療を(1)医療面接(2)診断(3)検査(4)治療(5)偶発症に留意して実施する能力の開発に務める必要があります。
- 3 4年間での手術経験数および執刀数**
基幹施設と連携施設を合わせた研修施設群全体について、専攻医1名あたり4年間で最低300例(内執刀数80例)の経験(執刀)症例数を必要とします。

主要症例と実績数

○ 主科別手術件数

診療科	2019年	2020年
形成外科	257	317
耳鼻咽喉科	33	15
歯科口腔外科	30	28
救急科	8	7
整形外科	10	5
外科	7	20
皮膚科	2	0
脳外科	3	3
産婦人科	0	1
合計	350例	396例

他科症例の殆どが再建手術

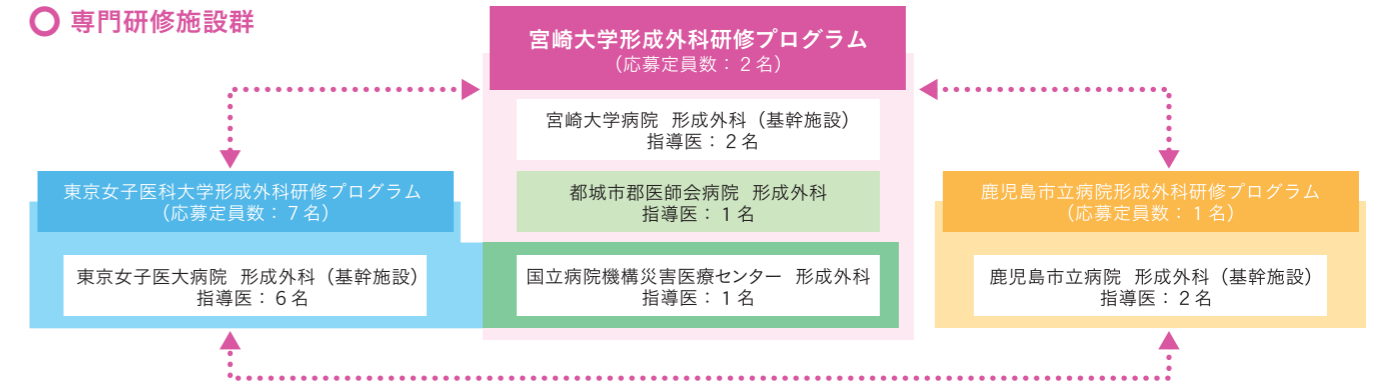
症例数は年々増加中！
他科とのコラボ手術が満載です！

専門医取得までのタイムスケジュール(専門研修ローテーション)

本研修プログラムでは宮崎大学医学部附属病院を基幹施設とし、2つの連携施設、及び2つの他プログラムの基幹施設とともに病院施設群を構成しています。施設群で育成することの意義は、各施設によって分野や症例数が異なるため、専攻医が専門研修カリキュラムに沿って十分に研修を行うことです。専攻医はこれらの施設群をローテートすることにより、多彩で偏りのない充実した研修を行うことが可能とな

ります。このことは、専攻医が専門医取得に必要な経験を積むことに大変有効です。施設群における研修の順序や期間等については、専攻医を中心に考え個々の形成外科専攻医の希望と研修進捗状況、各病院の状況、地域の医療体制を勘案して、研修プログラム管理委員会が決定します。

○ 専門研修施設群



【ローテーションの一例】

	専門研修1年目	2年目	3年目	4年目
※専攻医は最低1年間基幹施設である宮崎大学医学部附属病院での研修を必要とします。	宮崎大学医学部附属病院	鹿児島市立病院	都城市郡医師会病院	国立病院機構災害医療センター

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 回診	モーニングカンファ 外科総合カンファ 回診
午前	外来	外来 中央手術	中央手術	外来	中央手術
午後	外来手術	中央・外来手術	中央手術	外来手術	中央手術
夕方	頭頸部カンファ イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	イブニングカンファ 回診	術前カンファ イブニングカンファ 回診	術後カンファ イブニングカンファ 回診、抄読会

先輩からのメッセージ

2015年発足した宮崎大学病院外科学講座形成外科分野は、現在医師3名で診療にあたっております。症例数は2020年の1年間で約400例でした。約1/3が他科との連携症例で、残りの2/3が形成外科単独症例となっており、年々増加傾向です。つまり当科の特徴は、一人当たりの症例数が非常に多い。そのため経験値が急上昇。他科からの紹介症例が多く症例が多様。いろいろな種類の手術が経験できます。さらに形成外科は外科学講座と大きな母体にいることで早急に様々な問題が解決できます。このことは非常に大切なことで有用なことです。外科学講座は非常にコミュニケーションがとりやすく、垣根がありません。風通しの良い職場だと思います。そのため、困った症例などで他科に相談するというストレスがなく解決され、さらに外科知識が豊富に吸収できます。是非見学に来てください！お待ちしております。



お問い合わせ先

担当：伊東 大
TEL：0985-85-9786
FAX：0985-85-9788
e-mail：hiroshi_itou@med.miyazaki-u.ac.jp

形成外科HP

<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/surgery/info-field/field-4/>



内科
小児科
皮膚科
精神科
外科
形成外科
整形外科
テラビシヨウ科
産婦人科
眼科
耳鼻咽喉科
泌尿器科
脳神経外科
放射線科
麻酔科
病理
臨床検査
救急科
総合診療

Orthopaedics is My Life! 運動器のスペシャリストを目指して！ 整形外科専門研修プログラム

募集定員 **6名**
研修期間 **4年**



宮崎の自然や人は最高です。
また、柔軟性のある理想的教育環境や研修カリキュラム、気軽に相談できる多くの指導医がいます。
是非、一緒に研修し世界を視野に地域から始めましょう。南国宮崎の自然と人があなたを待っています！

責任者からのメッセージ

整形外科
教授 帖佐 悦男



プログラムの特徴

本プログラムは3年9ヶ月の研修を義務付けており、4年目の12月で終了し、1月に専門医試験を受験します。

- 1年目は大学病院で研修します。
- 2～3年目は地域中核病院または宮崎市内の連携病院で、主に一般整形外科・外傷を学び外来～手術～後療法の治療医となります。この時期に地域医療も研修します。
- 3年9か月の研修後に、大学院希望者は大学院コースへ、subspeciality希望者は大学を含む連携病院での研修が選択できます。
- 専門医取得後、海外・国内留学などを推奨しています。また、各種競技の帯同ドクター、スポーツ現場での活動や日本スポーツ協会公認スポーツドクターの取得も推奨しています。
- 女性医師へのサポート体制も整えています。産休・育休の取得はもちろんのこと、家庭の状況に応じて勤務形態を選択することができ、女性にも優しいプログラムになっています。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	帖佐 悦男 教授、他12名	脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、スポーツ、小児整形、腫瘍、リハビリ
連携施設	高千穂町国民健康保険病院、宮崎県立延岡病院、済生会日向病院、宮崎県立こども療育センター、宮崎市立田野病院、宮崎市郡医師会病院、宮崎江南病院、串間市民病院、宮崎県立日南病院、都市市郡医師会病院、国立病院機構都城医療センター、えびの市立病院、国立病院機構宮崎病院、千代田病院、藤元総合病院、橋病院、野崎東病院、球磨郡公立多良木病院、宮崎善仁会病院、潤和会記念病院、小林市立病院、百瀬病院		

取得可能な専門医資格および技能

<取得可能専門医>

日本整形外科学会整形外科専門医
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション専門医

<サブスペシャリティ>

日本脊椎脊髄病学会指導医、日本リウマチ学会専門医、日本手外科学会専門医

<取得可能な資格>

日本スポーツ協会公認スポーツドクター、日本リハビリテーション医学会リハビリテーション認定臨床医、日本障がい者スポーツ協会障がい者スポーツ医、日本医師会健康スポーツ医、日本人工関節学会認定医、日本骨粗鬆症学会認定医、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会関節鏡技術認定医

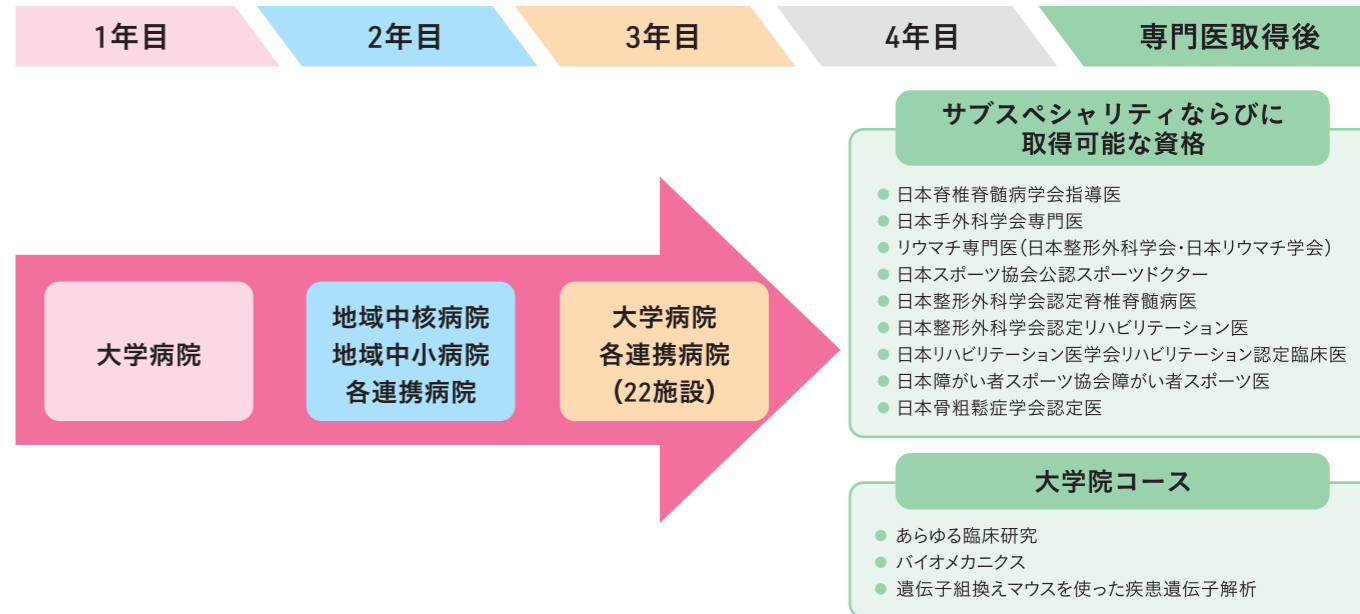
プログラム達成目標

宮崎大学医学部附属病院整形外科専門研修プログラムは到達目標を「自立したプロフェッショナルとしての整形外科医師」としています。
整形外科学は、運動器の機能と形態の維持・再建をめざす臨床医学であり、脊椎、上肢、下肢などの広範な診療領域を扱います。高齢化型社会をむかえた我国においては、整形外科への期待はますます大きくなっています。現在、宮崎大学医学部附属病院整形外科には、脊椎、股関節、膝関節・スポーツ医学、上肢・手外科、足の外科、小児整形外科、リウマチ、骨代謝、リハビリテーションなどの診療、および研究グループがあります。連携施設は、スポーツ医学、手外科、脊椎外科、関節科、救急医療、リウマチ、リハビリテーションなどそれぞれに特色をもった21におよぶ施設、病院があり、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことを目標としています。

主要症例と実績数

入院加療を行っている症例は、救急外傷(多発・重度外傷)、骨折などの外傷はもちろんのこと、変形性関節症などに対する再生医療としての骨切り術・関節形成術や人工関節置換術、靭帯損傷に対する靭帯再建や腱板損傷や肩関節脱臼に対する関節鏡視下手術、顕微鏡手術を導入した脊椎外科、スポーツ選手管理を行うスポーツ整形、手の機能再建や多指症など先天性疾患に対する形成術を中心とした手外科、骨軟部腫瘍に対する化学療法や再建術、薬物療法から機能再建術まで担う関節リウマチ、小児整形外科、骨粗鬆症など、専攻医はすべての症例を研修することができます。手術症例数は年間1,300例で、同規模の病院では最多です。

専門医取得までのタイムスケジュール



週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
AM	手術	外来	外来	手術	外来・抄読会
PM	手術	外来・病棟業務	検査	手術・術前カンファ	術後カンファ・回診・医局会

指導医からのメッセージ



助教 永井 琢哉

『整形外科は大工さんみたい』確かに手術室ではドリルやハンマーの音が響きます。力仕事のイメージがあるかもしれませんが、実はスクリュー1本にも工夫を凝らしており、女性医師も数多く活躍しています。最大の魅力は、患者さんの笑顔が見られるところです。今まで歩けなかった方が歩けるようになり、痛みが軽くなったり、整形外科は子供からお年寄り、アスリートまで診る運動器のスペシャリストです。また整形外科専門医を取った後にスポーツドクターなどのサブスペシャリティにも挑戦できずし、骨粗鬆症などありふれた病気もまだまだ解明できない謎があり、アカデミックな研究も盛んに行っています。整形外科に少しでも興味のある方、まだ将来何科になるか悩まれている方はぜひ研修に来てくれれば嬉しいです。一生の仕事になると思います。

ココに注目!

当科では、なでしこジャパンやラグビーワールドカップ、国体の帯同ドクターの派遣、各種大会のメディカルチェック・サポートも行っていきます。また学童期の運動器検診、少年野球検診、ロコモティブシンドロームに関する事業にも力を入れており、子供から高齢者までの運動器のケアを行っています。

先輩からのメッセージ



大江整形外科病院 近藤 梨紗

私は、H16年に東京女子医大を卒業後、地元の宮崎に戻り、卒後臨床研修を経て、当医局に入局しました。医師3年目に、同じ卒後臨床研修医の夫と結婚し、妊娠しましたので、初期にしっかりとした研修が受けられませんでした。1年間の育休後に、職場復帰させていただきました。復帰時は、整形外科医としては何も分らない状態で、不安もありましたが、医局の先生方からしっかりと指導していただき、関連病院での研修を積み、整形外科専門医を取得することができました。子育てをしながらの常勤での勤務は、時には過酷でもありましたが、当医局は進路についても希望を考慮していただき、結婚、出産後も仕事を続けることができ、現在は実家の病院を継承し、今後は生まれ育った宮崎の地域医療に貢献し続けていきたいと考えています。整形外科は力仕事、男性の職場というイメージが強いですが、当医局は子育てをしながら働く女性医師も多いですし、医局の先生方も子育てと仕事の両立に非常に理解、協力をして下さるので、女性でも働きやすい職場です。また大学病院には、託児所も併設されておりますので、環境も整っています。当医局では、バリバリ手術される女医さんから、時短勤務で働かれる女医さんまで、働き方は多様ですので、女性だから、整形外科はちょっと、と二の足を踏んでいる方は、是非一度見学、研修に来てください。

お問い合わせ先

担当: 坂本 武郎
TEL: 0985-85-0986
FAX: 0985-84-2931
e-mail: seikei@med.miyazaki-u.ac.jp

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/ortho/

整形外科 HP



リハビリテーション科 専門研修プログラム

救急（超急性期）～回復期時期の
リハビリ治療を広くカバー

募集定員 2名
研修期間 3年



責任者からのメッセージ



リハビリテーション科
副科長 荒川 英樹

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専攻医養成プログラムは、地方の立地を生かし、多くの症例の経験ができ、専攻医の皆さんの多様な希望にこたえられるプログラムを提供します。宮崎県はいわゆる地方都市です。大都市と比較して患者数ではかきませんが、以下の点で有利であり研修を勧めます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科が地域の7つの連携施設と密に連絡を取りあい、専攻医の希望を取り入れながら研修を進めていきます。宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGのメリットは以下の通りです。

1 ほとんどすべての難治症例が宮崎大学医学部附属病院に搬送されます。従って基幹病院である宮崎大学医学部附属病院で研修することは、多くの難治症例を経験することができます。専攻医数も少ないので丁寧な指導が期待できます。

2 一人あたりの専攻医が受け持たせてもらえる患者の数や、主体となって実施できる検査などが格段に多くなっています。

3 大都市の病院では専門分野は細分化する傾向がありますが、地方都市では多くの専門分野を総合的に研修できます。

プログラムの特徴

当院は宮崎県における中核的教育医療機関で、ドクターヘリを運用する救命救急センターを軸とした超急性期リハや高度合併を有する内部障害リハ、がんリハなど幅広いリハが特徴です。また近接する宮崎大学宮崎市立田野病院と併設の介護老人保健施設では地域在宅のリハ/ケア医療の実践に力を入れていますので、実際の地域往診、訪問・介護リハ、看取りケアなどを体験することができます。

取得可能な専門医資格および技能

リハビリテーション科専門医(日本リハビリテーション医学会認定)宮崎大学医学部附属病院専門研修PGでは、基幹施設と連携施設それぞれの特徴を生かした症例や技能を広く、専門的に学ぶことが出来ます。

連携施設名等

	施設名	指導医	専門分野・特徴
基幹施設	宮崎大学医学部附属病院	荒川 英樹 副科長、他1名	リハビリテーション科・整形外科
連携施設	宮崎市立田野病院、延岡リハビリテーション病院		
関連施設	宮崎県立子ども療育センター、国立病院機構都城医療センター、宮崎江南病院、野崎東病院、潤和会記念病院		

専門医取得までのタイムスケジュール

図に宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科専門研修PGの3年間のプログラム(基幹病院と連携施設のローテート)における1コース例を示します。

施設は大学病院、一般病院、リハビリテーション専門病院の中から選択され、症例等で偏りの無いように、専攻医の希望を考慮して決められます。

宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション科研修PGのコース例



プログラム達成目標

知識として求められるものには、リハビリテーション概論、機能解剖・生理学、運動学、障害学、リハビリテーション関連領域疾患の知識などがあります。専門技能(診察、検査、診断、処置、手術など)として求められるものは、8領域に亘ります。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ① 脳血管障害、外傷性脳損傷など | ⑤ 神経筋疾患 |
| ② 外傷性脊髄 | ⑥ 切断 |
| ③ 運動器疾患、外傷 | ⑦ 内部障害 |
| ④ 小児疾患 | ⑧ その他(廃用症候群、がん、疼痛性疾患など) |

主要症例と実績数

症例	実績数(延人数/年)
脳血管障害、外傷性脳損傷など	3,000
脊髄疾患	50
運動器疾患、外傷	4,000
小児疾患	300
神経筋疾患	400
切断	50
内部障害	1,500
その他(廃用症候群、がんなど)	1,500

週間スケジュール(宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
午前	病棟カンファ リハ外来	勉強会(月1回) 病棟カンファ リハ外来 ボトックス・嚥下外来	病棟カンファ リハ外来 検査・測定	病棟カンファ リハ外来	病棟カンファ リハ外来
午後	定期ミーティング(月1回) 他科合同カンファ(月1回)	高次脳外来 検査・測定 疾患別カンファ	装具外来 疾患別カンファ	検査・測定 疾患別カンファ 勉強会(月1回)	高次脳外来 装具外来 リハカンファ 疾患別カンファ

ココに注目!

広がる リハビリテーション医学・医療のニーズ

わが国のリハビリテーション医学・医療の原点は、戦前の急性灰白髄炎(脊髄性小児麻痺:ポリオ)、骨・関節結核、脳性麻痺などの肢体不自由児に対する療育にあるとされています。宮崎県では1959年に宮崎県立整肢学園が開校され、現在のこども療育センターへと発展しています。その後、戦傷、労働災害や交通事故で対象となる患者さんが急増し、四肢の切断や骨折、脊髄損傷のリハビリテーション医学・医療が大きな課題となりました。そして超高齢社会となった現在、リハビリテーション医学・医療の対象として、これまでの小児疾患や切断・骨折・脊髄損傷に中枢神経・運動器(脊椎・脊髄を含む)・循環器・呼吸器・腎臓・神経筋疾患、関節リウマチ、摂食嚥下障害、がん、スポーツ外傷・障害などの疾患や障害が加わりました。さらに周術期の身体機能障害の予防・回復、ロコモティブシンドローム、サルコペニア、フレイルなども加わり、ほぼ全診療科に関係する疾患、障害、病態を扱う領域になっています。更に東京オリンピック・パラリンピックも決定し、障がい者(後遺症)のADLだけでなくQOLさらにより高度な機能改善に視点を向ける“障がい者スポーツ”も注目されています。残存機能に適した補装具、スポーツ関連機器などの適正やクラス分類分けなどを、リハビリテーション医学・医療という幅広い視野で経験することができます。宮崎県には、障がい者アスリートが日本・世界各地からキャンプに訪れ、サブスペシャリティとして取得可能な“障がい者スポーツ医”としても活躍できます。

先輩からのメッセージ



助教 山口 洋一郎

地域の基幹病院であるため様々な分野の症例を経験できます。また指導医の先生方の専門分野も多様で、専攻医も少ないことから充実した丁寧な指導を受けることができます。是非一緒に宮崎でリハビリ専門医を目指しましょう。

お問い合わせ先

担当: 荒川 英樹

TEL: 0985-85-0986
FAX: 0985-84-2931

e-mail: rehabili@med.miyazaki-u.ac.jp

リハビリテーション科HP

http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/rehabili/



産婦人科専門研修プログラム

To the next generation

募集定員 6名
研修期間 3年

連携施設名等

施設名	指導医	分娩数 (2020年度)
基幹施設 宮崎大学医学部附属病院	桂木 真司 教授、他13名	271
連携施設	県立延岡病院、県立日南病院、独立行政法人国立病院機構都城医療センター、宮崎市医師会病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、ARTレディースクリニックやまうち、鹿児島市立病院、船橋中央病院	

取得可能な専門医資格および技能

- 日本産科婦人科学会専門医
- 日本周産期新生児学会 周産期専門医(母体・胎児、新生児)
- 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医
- 日本産科婦人科内視鏡学会 婦人科内視鏡技術認定医
- 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医

プログラム達成目標

日本産科婦人科学会専門医習得に必要な症例数は以下の通りで、このプログラムで必要な症例数は確保可能です。

症例	必要症例数
経陰分娩	100
帝王切開術執刀	30
帝王切開術助手	20
前置胎盤/常位胎盤早期剥離症例執刀/助手	5
子宮内容除去術/子宮内膜全面掻爬を伴う手術執刀	10
腔式手術執刀	10
子宮附属器摘出術執刀	10
単純子宮全摘術執刀	10
浸潤がん手術執刀/助手	5
腹腔鏡下手術	15
不妊症治療担当/助手	5
生殖補助医療における採卵・胚移植術者/助手/見学者	5
思春期/更年期女性症例	5
経口避妊薬・低容量エストロゲン・プロゲステロン初回処方時の担当医/助手	5



責任者からのメッセージ

産科婦人科
教授 桂木 真司



当科では臨床医かつ研究者として幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。産科、婦人科ともに症例が豊富でチーム医療を通じて高度な技術や診断能力を高める事ができます。周産期、婦人科、新生児領域における研究も盛んであり、臨床と研究の両立も盛んであり、働き方改革を意識した勤務時間にも留意しています。女性：男性＝6：4程度で育児中の若いママさん先生も多く活躍し、医局全体が明るく楽しく仕事ができる診療科です。次世代を築く若い先生方と臨床の喜びを共有できる日がくる事を心まことにしています。

プログラムの特徴

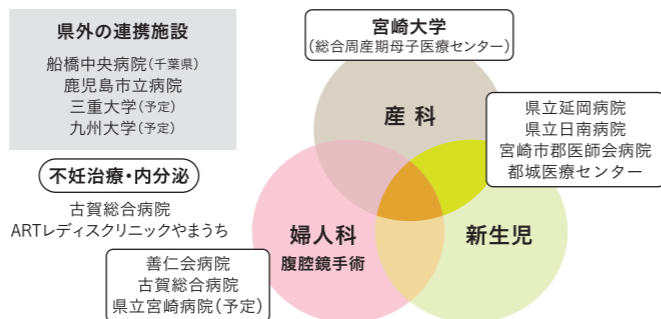
専攻医1年目は大学病院で産科、婦人科、新生児領域をローテーションし、各領域の基本的な知識と手技を身につけます。専攻医2～3年目は県内の関連施設(地域周産期センター)を中心に研修を行います。各施設では基礎的な多くの症例を経験することができます。大学病院で比較的症例の少ない内視鏡手術や不妊症の分野は関連施設で経験できるようプログラムは作成され、3年間で専攻医申請に十分な症例が得られます。またこの期間に経験した症例について全国学会での発表、論文の作成を行います。専攻医4年目には産婦人科専門医を受験し資格取得が可能です。

- 日本生殖医学会 生殖医療専門医
 - 日本内分泌学会 内分泌代謝専門医
 - 日本胎児心臓超音波学会 胎児心臓超音波専門医
 - 母体保護法指定医
- 上記以外にも含め、多岐にわたる分野の専門医資格が習得可能です。

専門医取得までのタイムスケジュール

宮崎大学を中心とした周産期医療の教育に加え、婦人科、生殖医療の研修が可能です。専攻医1年目は宮崎大学で2年目以降は宮崎県内の数か所の施設での研修を行います。

○ 専攻医キャリアデザイン



主要症例と実績数

産科	症例	実績数	産科合併症	実績数	婦人科	症例	実績数
	経陰分娩	109				広汎子宮全摘術	13
	帝王切開術	135	・ 双胎 MD	15		子宮体癌手術	18
	・ 選択的帝王切開術	56	DD	13		卵巣癌手術	17
	・ 緊急帝王切開術	79	・ 胎産	2		悪性腫瘍以外の子宮全摘術	20
	合併症妊娠		・ 妊娠高血圧症候群	9		腹腔鏡手術	45
	・ 妊娠糖尿病	43	・ 前置胎盤	5		腔式手術	27
	・ 糖尿病合併妊娠 type1	6	・ 癒着胎盤	1		超低出生体重児	30
	type2	5	・ 常位胎盤早期剥離	1		極低出生体重児	13
	・ 甲状腺疾患	25	・ 胎児発育不全	13		低出生体重児	67
	・ 血液疾患	3	・ 胎児心奇形	10		重症新生児仮死	1
	・ 中枢神経系疾患	9	・ 胎児消化管閉鎖	3		先天奇形	16
	・ 心疾患	10	・ 胎児髄膜瘤	3		先天性心疾患	20

週間スケジュール (宮崎大学医学部附属病院の例)

時間	月	火	水	木	金
朝	関連病院合同症例カンファレンス	新生児科症例カンファレンス	リサーチカンファレンス研究結果発表会	産科症例カンファレンス	婦人科症例カンファレンス
午前	病棟	手術/病棟	病棟	手術/病棟	病棟
午後	回診	手術/病棟	病棟	手術/病棟	病棟
夕方			病理部門合同カンファレンス		

指導医からのメッセージ

総合周産期母子医療センター副センター長 教育医長 山田 直史

当教室では産科、婦人科、新生児科の3分野を皆がトレーニングして専門医に必要な技術・知識を習得します。約30年前に現宮崎大学学長の池ノ上克先生が県内の周産期医療を立ち上げ、NICU(新生児集中治療室)を主に産婦人科医が担当、診療を行うのが特徴です。2021年2月からは桂木真司教授が着任し得意な周産期領域を中心に据え、ロボット手術も含めた婦人科、生殖医療など幅広い内容を含んだ魅力的なプログラムにさらに発展させる予定です。県内の関連施設は腹腔鏡を中心とした病院、産婦人科救急症例の多い施設等多彩で、充実した幅広い分野の研修が可能です。分娩に立ち会う産科医は、新生児蘇生のスキルが重要で分娩直後に状態が悪い新生児に迅速に対応することが大切です。当大学では新生児領域のローテーションを行い新生児蘇生の技術を身につけることが可能です。

卒後臨床研修センター所属 圓崎 夏美

産科では新たな命の誕生に立ち会い、NICUでは小さく生まれた赤ちゃんの全身管理を行い、婦人科ではがんと闘う女性のサポートを行います。ひとえに産婦人科といっても学べることは幅広く、内科的管理から外科的管理まで様々な知識が必要です。私たちは一丸となり、毎日宮崎の赤ちゃん&女性のため奮闘しています。忙しい・大変なイメージがありますが、出産・育児を行いながら働く女性医師も増えており、自分の人生設計に応じた働き方ができるようサポートしていきます！宮崎の産婦人科医療と一緒に盛り上げていきましょう！

ココに注目！ 産婦人科 副科長/医局長 川越 靖之

当科では臨床医かつ研究者として通用する人材の育成が目標です。少数の医師で構成される地域医療では短期間に多くのかつ深く濃厚な臨床経験が可能です。連携施設には数多くのバラエティに富んだ県外の施設と

先輩からのメッセージ

専攻医 佐藤 謙成

当院の産婦人科の特徴は新生児管理も行っていることではないかと思えます。赤ちゃんをみる機会が多いので純粋に癒されるというのがありますが、NICUでの知識・経験が産科領域における妊娠・分娩管理に活かされる部分は大きいと感じております。また婦人科領域では腹腔鏡やda Vinciを用いた手術件数も増えております。他県出身や他大学出身の先生、子育てをしながら働く先生も多く、やりたいことを個人毎に合わせてできる環境になっていると思います。ここ数年新入局員が多く、とても明るく楽しく成長していくことができると思うので、是非みんなと一緒に産婦人科を盛り上げていきましょう。

専攻医 東 真理恵

産婦人科というお産のイメージがありましたが、妊娠管理だけでなく、新生児治療や不妊治療などもありますし、子宮頸癌や卵巣癌など悪性腫瘍の治療も行います。患者さんは胎児から高齢者まで、幅広い年齢層を診ることになります。内科的な薬物治療から、外科的な手術まで幅広い知識を身につけることができます。今何がしたいか進路に悩んでいる人も、やりたいことがきっと見つかる科だと思います。いつでも見学大歓迎しております。興味のある方はぜひご連絡ください。

連携しています。またネットワークを利用した全国の施設との週1回のカンファレンス、米国、カナダへの留学、全国学会の主催など数々イベントを通し“臨床と研究に強い”医師の養成を目指しています。育児との両立も可能で多数の女性医師が現在、活躍中です。症例について一緒に悩み、考え臨床の喜びを共有できる日が来ることを心待ちにしています。

お問い合わせ先 TEL : 0985-85-0988
FAX : 0985-85-6149
担当 : 川越 靖之 e-mail : yasuyuki_kawagoe@med.miyazaki-u.ac.jp

産婦人科HP
http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/obgyn/

